



国際会長：

コシムテスワ博士、MPH PhD、RN - エス
ワティニ王国

事務総長

ダイアナ・ルジカ、MSN、RN - 米国

財務マネージャー

モボランレ・オンウピコ、RN、RM

ナイジェリア

国際教会補佐官

ケネス・スリーマン神父、MM (RN)
日本

アフリカ地域社長

ロザリン・オコボ、FCP、MHPM、

RN - ナイジェリア

アジア地域社長

フランシスカ・マランティン、RN - マレーシア

ヨーロッパ地域社長

マルゴルサタ博士 (ゴシア)

ブリュクチンスカ博士、RN、OCV

イングランド

パンアメリカン地域会長

マリアン・ノワック博士、DNP、MPH、RN、

FAAN - 米国

倫理委員会委員長

ジョイス・アスフィさん、BNSC、MPH、

FWACN、RN - ナイジェリア

家族委員会委員長

Sr. Cecilia Adache、OSF、RN、MPH、

CFCP、CFCE - ナイジェリア

助産師委員会委員長

CINGO代表

アン・カビムバ博士 (PhD、RN/M)

ケニア

専門委員会委員長

ステラ・チスンカさん、BSc、MSc、RSCN、

RN - ザンビア

規則委員会委員長

Jane Buncuan 氏、BNSC、MNsg、RN -

マレーシア

国連代表 (UN/DGC/ECOSOC/UNICEF)

パトリシア・セイヤーズ博士、DNP、RN

アメリカ合衆国

クレッシェンド代表

ベアトリス・ヴァン・ドーサー氏、BN、RN

オランダ

国際医療社会カトリック・デ・アシスタント委員会

国際カトリック看護師・医療社会福祉士委員会

国際医療支援委員会医療社会委員会

7月

2024



国際会長のデスクから International President's Desk

親愛なる兄弟姉妹の皆様、この四半期で最も刺激的な経験を皆様と共有できることを大変嬉しく思います。私とCICIAMS執行委員会の他の2名（マレーシアのジェーン・ブクアン氏とヨーロッパ地域のゴシア・ブリクチンスカ博士）は、「宣教のためのシノドス（共同体）の挑戦」というスローガンの下、ローマで開催された国際教会運動と新共同体の会合に出席しました。この会合は、サン・ピエトロ大聖堂でのミサの直後、その日の最初の講演を教皇フランシスコ聖下が行ったという点で、昨年の会合とは異なっていました。教皇が表明された願いは、「シノドスが教会内のあらゆるレベルで永続的な活動様式として存続し、牧師と信徒を問わずすべての人の心に浸透し、共通の「教会様式」となるように」ということであることは明らかでした。

これまで、このような新しい取り組みは単純に不可能であったか、あるいはむしろ嫌悪感を抱かれていました。この新しい「キリスト教的存在」のあり方を実現するために、そしてそれが実際に実現するために、教皇は、私たち皆が心の回心を必要としていることを改めて思い起こさせました。最も深い霊的レベルでの心の変化が必要なのです。この霊的回心を促進するために、教皇は三つの重要なアプローチを示唆しています。それは、神の考え方に倣って考え始めること、排他性という生来の傾向を克服するよう努めること、そして謙遜という美德を積極的に培うことです。

私たちはフランシスコ教皇に紹介されたことを嬉しく光栄に思い、教皇様のお祈りに応えて、ケビン・ファレル枢機卿、ベネズエラ出身のラファエル・ルチアーニ教授、そして教皇が提起されたテーマについて、教皇庁のエリサ・リシエロ博士が講演を行いました。このニュースレターに掲載されている教皇様のスピーチを、ぜひ皆様にもお読みいただきたいと思います。CICIAMSの看護活動に役立つ内容が数多く含まれています。ケニアでの会合を楽しみにしています。神のご加護がありますように。 コシムテスワ博士



2025年ジュビリー - 「希望の巡礼者」：病者と医療従事者のジュビリーは、2025年4月5日と6日にバチカン市国で開催されます。ジュビリーへの参加を希望する各国協会／ギルドは、下記のウェブサイトで登録し、旅費とホテルの手配を早めに行ってください。<https://www.iubilaum2025.va/en/giubileo-2025.html>ご質問は：info@iubilaum2025.va; 聖年に関する教皇勅書は、https://www.vatican.va/content/francesco/en/bulls/documents/20240509_spes-non-confundit_bolla-giubileo2025.htmlでご覧いただけます。

CICIAMS定款に基づき、CICIAMSの年次執行委員会は2025年4月3日～4日にローマで開催されます。執行委員会メンバーはそれに応じて計画を立ててください。

教会運動と新共同体のモデレーターの年次会議

信徒、家族、そして生命のための教区、2024年6月13日、バチカン市国

2024年6月13日、CICIAMS 国際会長、
MPH,PhD,RN の Khosi Mthethwa 博士
と Mar gozata 博士 (ゴニア)

CICIAMSヨーロッパ地域会長のブリクチ
ンスカ博士 (PhD,RN,OCV)と、
CICIAMS規約委員会委員長のジェーン・ブ
ンクアンは、CICIAMSを代表して、バチカン
市国のニュー・シノドス・ホールで開催
された信徒・家族・生活のための部局主催の
教会運動および新共同体モデレーター会
議に出席し、「宣教におけるシノドスの課題」
というテーマで講演しました。出席者は、フ
ランシスコ教皇陛下の講演と個別の挨拶を
受けるという恵みを受けました。



ジェーン・ブンクアン (CICIAMS規約委員会委員長)、コシムテトワ (CICIAMS国際会長)、ゴニア・ブリクチ
ンスカ (CICIAMSヨーロッパ地域会長)が、2024年6月13日、バチカン市国にてフランシスコ法王に挨拶。

教皇フランシスコの、信徒団体、教会運動、新共同体の議長会議参加者への演説

信徒、家族、そして生活のための部局



親下、

親愛なる兄弟姉妹の皆様、おはようございます。皆様を歓迎いたします。

皆様とお会いし、この機会に皆様と共に、今回の会議のテーマとして選ばれたシノドス性について考察できることを嬉しく思います。私はこれまで何度も、シノドスの旅には霊的な回心が必要であることを強調してきました。なぜなら、内面的な変革なしには永続的な成果は得られないからです。今回のシノドスの後、シノドス性が教会のあらゆるレベルにおける永続的な活動様式として存続し、司牧者も信徒も含め、すべての人の心に浸透し、共通の「教会様式」となることを願っています。しかし、これを達成するには、私たち一人ひとりの内に変化、真の「回心」が起こらなければなりません。

これは長い道のりでした。ラテン教会におけるシノドスの必要性を最初に認識したのは、第二バチカン公会議後に司教会議事務局を設立した聖パウロ六世であったという事実を考えてみてください。東方教会はシノドス性を保っていましたが、ラテン教会はそれを失っていました。聖パウロ六世はこの道を切り開きました。それからほぼ60年経った今日、私たちはシノドス性が教会の行動様式に取り入れられたと言えるでしょう。シノドスにおけるシノドス性の最も重要な要素は、特定の問題や特定の問題を扱うことではありません。最も重要な要素は、シノドス性を通して私たちが共に歩む、教区、教区、そして普遍的な旅なのです。

この霊的回心という観点から、わたしは、マルコによる福音書における受難の三つの告知 (マルコ8・31、9・31、10・32-34参照)から導き出せる、いくつかの態度、いくつかの「シノドスの徳」を強調したいと思います。それは、神と同じように考えること、排他性を克服すること、そして謙遜を培うことです。

第一に、神の考えと同じように考えること。受難の最初の告知の後、福音記者はペトロがイエスを叱責した様子を記しています。他の弟子たちが主の御業に完全に仕えるよう助けることで模範となるべきだったペトロは、神の受難と死を拒絶することで神の計画に反抗します。イエスはペトロに、「あなたは神のことを思わず、人のことを思っている」（マルコ8:33）と言われます。

これが私たちに求められている主要な内面的変化です。「単なる人間の考え」を超えて「神の考え」を受け入れることです。教会内で何らかの決定を下す前、いかなるプログラム、いかなる使徒職、いかなる宣教活動を始める前にも、私たちは自問すべきです。神は今、この瞬間、この状況において、私に何を望んでおられるのでしょうか。私が思い描いていること、私たちが集団として心に描いていることは、本当に「神の思い」と一致しているのでしょうか。シノドスの旅の主人公は私たちではなく、聖霊であることを忘れてはなりません。聖霊だけが、個人としても教会としても、神の声に耳を傾けるよう私たちに教えてください。

神は常に私たちの考えよりも、当時の一般的な考え方や「教会の流行」よりも、さらには私たちの特定のグループや運動のカリスマ性よりも偉大です。ですから、私たちは決して神と「調和している」と思い込んではいけません。むしろ、常に自分自身を超越し、人間の視点ではなく神の視点を受け入れるよう努めましょう。これが最初の大きな挑戦です。神の考え方と同じように考えることです。主が受難を告げ、ペトロがそれに抵抗した福音書の箇所を思い出しましょう。主は何と言われたのでしょうか。「あなたたちは神に従って行動していない。神の考え方と同じように考えていない」。

第二に、排他性を克服すること。受難の第二の告知の後、ヨハネはある男に異議を唱えます。イエスの名によって悪霊を追い出していたものの、弟子の間ではなかったある人が、イエスにこう言いました。「先生、あなたの名によって悪霊を追い出している男を見ましたが、わたしたちに従ってこなかったので、やめさせました」（マルコ9:38）。イエスはこの態度を非難し、「わたしたちに反対しない者は、わたしたちの味方です」（マルコ9:40）と言われました。そして、すべての使徒たちに、他の人々のつまづきとならないように注意するよう勧めました（マルコ9:42-50参照）。

どうか、「閉じた輪」の誘惑に警戒しましょう。使徒たちは、地上のすべての国々に開かれた、神の新しい民の礎となるよう選ばれていたにもかかわらず、この広大なビジョンを理解していませんでした。彼らは内向的で、病人を癒し、悪霊を追い出し、御国を宣べ伝える（マルコ2:14参照）といった、主から授かった賜物を、あたかも特権であるかのように守り通そうとしているように見えました。

次のようなことも私たちにとって課題です。私たちの「サークル」の考えに自分を限定すること、私たちが考えていることが誰にとっても正しいことをしているのではなく、おそらく意図せずに「グループ」の立場や特権、威信を守っているのです。あるいは、多様性を脅威ではなく機会として認識できないことから、他の人々や異なる視点に心を開くことで帰属意識やアイデンティティを失うのではないかとこの恐怖によって妨げられる可能性もあります。これらは、私たち皆が監禁される危険をはらむ「囲い」です。注意深く見守ろうではありませんか。私たち自身のグループ、私たち自身の霊性は、神の民と共に歩む助けとなる現実ですが、特権ではありません。なぜなら、これらの囲いの中に閉じ込められてしまう危険があるからです。

シノダリティは、むしろ私たちに、寛大な心で障壁を越えて、知らない人々、新しい司牧的アプローチ、未知の宣教地においても、神の存在とその働きを見出すよう求めます。シノダリティは、他者、つまり仲間の信者や周囲のすべての人々の声、経験、苦しみに心を動かされ、時には「傷つく」ことさえも受け入れるよう求めます。心を開き、開かれた心でいましょう。

最後に、第三に、謙遜さを培うこと。受難の三度目の告知の後、ヤコブとヨハネはイエスの隣に座することを願います。イエスはこれに応じて、真の偉大さとは仕えられることではなく、仕えること、すべての人に仕えることにありと皆に考えさせるようにと勧めます。なぜなら、イエスご自身がそのために来られたからです（マルコ10:44-45参照）。

ここで、私たちは霊的回心の出発点は謙遜でなければならないことを理解します。謙遜はあらゆる美德への入り口です。「私はこの司祭だから」「彼らはあの場所の信徒だから」「私はこの団体の出身だから」と自慢するキリスト教徒に出会うと、私は悲しくなります。これは良くないことです。謙遜は扉であり、始まりです。謙遜は私たちに自分の意図を吟味させます。信仰の兄弟姉妹との関係において、私は本当に何を求めているのでしょうか？なぜ教会内で特定の取り組みを追求するのでしょうか？もし私たちの中に少しでも傲慢さや傲慢さを感じたら、



CICIAMS国際会長のKhosi Mthethwa博士（公衆衛生学修士、博士号）がフランシスコ法王に挨拶

謙遜さを再発見する恵み。実に、謙遜な人だけが教会において偉大なことを成し遂げます。なぜなら、彼らは決して失われることのない神の愛という確固たる基盤を持っているからです。だからこそ、彼らはさらなる承認を求めないのです。

霊的回心のこの段階は、シノドス教会を築く上でも基礎となります。謙虚な人だけが他者を尊重し、彼らの貢献、助言、内なる豊かさを歓迎し、自分自身の「私」ではなく、共同体の「私たち」を表に出します。キリスト教徒に会うと、心が痛みます…スペイン語で「yo me mí conmigo para mí」（私、私と共に、私のために）と言います。これらのキリスト教徒は自分自身を「中心」に置きます。それは悲しいことです。教会における交わりを守り、分裂を避け、緊張を乗り越え、共同のプロジェクトに貢献するために自分の主導権を脇に置く方法を知っているのは、謙虚な人々です。奉仕の中に、彼らは挫折や憤りではなく、喜びを見出します。あらゆるレベルにおけるシノドス性を生きることは、謙虚さなしには真に不可能です。

教会運動の役割を強調するために、もう一度言いたいことがあります。教会運動は奉仕のためのものであり、自分自身のためではありません。「私はこれに属している、あれに属している、そしてまたこれに属している」と、まるでそれが優越感と関係があるかのように感じる時、それは悲しいことです。教会運動は教会に奉仕するためにあるのです。それ自体がメッセージや教会の中心性を持つものではありません。教会運動は奉仕のためにあるのです。

これらの考察が、皆さんの歩み、団体や運動、牧師たちとの関係、そして教会生活のあらゆる側面において、助けとなることを願っています。この集会や同様の集まりが、教会の視点を通して皆さんがそれぞれのカリスマを理解し、私たち皆が招かれている福音宣教の使命に惜しみなく、そして計り知れない貢献をなされる助けとなることを願っています。

常に考えてください。私が教会運動に参加しているというのは、協会の会員なのか、それとも教会の会員なのか。それは私の運動、教会のための協会の会員であり、教会を助けるための「一歩」なのです。しかし、内向きの運動は排除されるべきです。そのような運動は教会的ではありません。

祝福します、前進してください！そして私のためにもお祈りください。お願いします！

さあ、祝福を受けましょう。まずは聖母マリアに共に祈りましょう。

アヴェ・マリアの朗読

祝福

私のために祈ってくださることについて。これは、かつて私に起こった出来事を思い起こしながらのことです。一般謁見会の締めくくりに、小柄な年配の女性がいました。田舎出身だと分かる、慎ましい女性でしたが、美しい目をしていました。彼女は20メートルほど離れたところから私に合図を送っていました。私は彼女のところへ行きました。「おいくつですか？」「87歳です」と彼女は答えました。

「でも、何を食えばそんなに健康になれるんですか？」「ラビオリを食べたり、自分で作ったりしています」と彼女は言い、ラビオリのレシピを教えてくださいました。そして最後に私は彼女に「私のために祈ってください」と言いました。彼女は「毎日祈っています」と言いました。「でも、奥様、あなたは私のために祈るのですか、それとも私に敵対して祈るのですか？素朴な人の答えは「法王様、お分かりでしょう！あそこでは、あなたに敵対して祈っているんです！」でした。だから私はあなたに私のために祈ってほしいとお願いしたので、あの女性は私を笑わせてくれました。

すべてのプレゼンテーションへのリンク: <https://www.laityfamilylife.va/content/laityfamilylife/en/news/2024/sinodalita-per-partecipare-sempre-meglio-al-cammino-comune-che-l.html>



CICIAMSヨーロッパ地域会長、ゴシア・ブリュクチンスカ博士 (PhD, RN, OCV)がフランシスコ法王に挨拶

聖人、祝福された人、尊者、神と教区の奉仕者

シビル・カティガス (1899-1948)、看護師、平信徒殉教者、第二次世界大戦の英雄、マレーシア。

ペナン司教セバスチャン・フランシス枢機卿は、インドネシア生まれのカトリックの看護師シビル・カティガスの列聖手続きの開始を発表した。カティガスは医師の夫とともに、第二次世界大戦中の日本占領下、マレーシア・ペラ州パパンで診療所を運営していた。

彼女は連合軍に秘密裏に医薬品や医療サービスを提供してレジスタンス活動を支援しました。

彼女は日本当局に捕らえられ、尋問され、拷問を受けました。独房の中でロザリオの祈りを声に出して唱えていました。健康状態が極めて悪い状態で釈放された後、治療を受けていたイギリスで48歳で亡くなりました。ペラ州イポーの聖ミカエル教会の墓地に埋葬されました。彼女は自身の体験を著書『慈悲の夢を見ず』に記録しました。





ケン・スリーマン神父、MM、RN
CICIAMS国際教会補佐官

マレーシアカトリック看護師ギルド訪問：

ケン・スリーマン神父（MM）

ケネス・G・スレイマン牧師（MM、PhD、RN）
CICIAMS 国際教会補佐官

6月24日、清水博子医師に同行して、ケン・スリーマン神父がマレーシア・カトリック看護師組合を訪問しました。以下は、洗礼者聖ヨハネの生誕記念日における彼の説教です。

CICIAMSの看護師・助産師の皆さん、こんにちは！

本日は皆様とご一緒できて大変光栄です。CNGM前会長のフランシスカ様、CNGM新会長のロザリン様、そしてJCNA（日本カトリック看護協会）会長の清水博子様には、アジア10カ国からなるCICIAMSファミリーへの連帯を示すためにマレーシアまでご同行くださったことに、心より感謝申し上げます。CICIAMS会長の越先生と、ご尽力くださったダイアナ事務局長からの温かいご挨拶も携えて、本日は皆様をお迎えする運びとなりました。月曜日のご都合の悪いタイミングでの訪問となり、誠に申し訳ございません。私は現在も札幌の小さなカトリック系大学で教鞭を執っております。

水曜日の午前中は授業が2つあるので、あまり長く滞在できません。もっとたくさんの会員の皆様とお会いできたらよかったです。いつか全国大会にまた参加できたら嬉しいです。

今日は洗礼者ヨハネの誕生日を祝います。偶然にも、この大切な祝日は、私たちCICIAMSにとって神聖な多くの事柄を祝う日でもあります。洗礼者ヨハネの誕生物語で最も重要なのは、生命の尊厳と人生の目的を祝うことです。エリザベスは生涯不妊だったようですが、神は老齢の彼女をついに母親にしてくださいました。不思議なことに、エリザベスは赤ちゃんの名前を「ヨハネ」にするべきだと知っていました。もしかしたら、福音書には記されていない啓示をエリザベス自身も受けたのかもしれませんが、口がきけない夫ザカリアが天使ガブリエルの願いをエリザベスに伝えたのかもしれませんが、エリザベスとザカリアの美しい協力は、家族愛の大切さを示しており、家族を守ることは私たちCICIAMSの使命の一つです。私たちがそうするのは、生まれてくる子供一人ひとりが、天の父によって記された人生というドラマの中で、かけがえのない存在だからです。マリア、ヨセフ、イエス、ザカリア、エリザベス、そして洗礼者聖ヨハネのように、私たち一人ひとりにも人生で果たすべき使命があります。私たち看護師と助産師は、CICIAMSというコミュニティに招かれ、人生の使命において互いに励まし合えることを大変幸運に思います。私たちは皆、洗礼者聖ヨハネの素晴らしい叔母マリアのようであり、人類を助けるために自らの命を神に捧げ、自らの意志で行動しました。マリアのデビュー



マレーシアの聖心大聖堂にて、ケン・スリーマン神父とコタキナバルのカトリック看護師組合のメンバーによる聖なるミサの捧げ物



夕食会 - CNGMのメンバー
清水健神父と清水博子博士と共に

福音書には、妊娠後期のいとこエリザベスを助ける助産師のように、様々な立場で医療現場で働き続ける看護師と助産師、そして退職した看護師と助産師は、助けが必要な時に助ける神の愛の兵士です。それは神への愛から生まれた私たちの無償の犠牲です。洗礼者聖ヨハネの誕生におけるマリアの役割を讃えるため、私は洗礼者聖ヨハネの叔母であるマリアの顔を描いた司祭服を着ました。

親愛なるCICIAMS会員の皆様、看護師と助産師という選択を通して、私たちはマリアの聖なる心に倣います。マリアは天使ガブリエルに「私は主のしもべです。お言葉どおり、この身に成りますように」（ルカ1:38）と勇敢に誓いました。マリアは生涯をかけてイエスの肉体的、精神的な必要を支えました。マリアは神への誓いを守り、まず洗礼者ヨハネの出産を手伝い、その後イエスを産み、カルバリの丘でイエスの短い生涯を終えるまで、毎日イエスと共に歩きました。マリアは、看護師と助産師として人々と社会に果たす私たちの重要な仕事の意義を示しています。私たちは、子宮内での受精から自然な死に至るまで、生命のあらゆる段階をケアします。

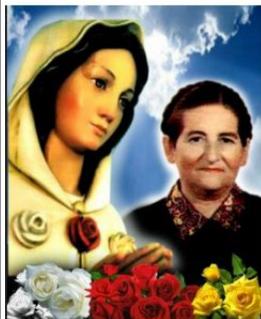
2024年、私たちは再び不安定な時代を生きています。わずか4年前、私たちは微弱なコロナウイルスとの戦いを繰り広げ、世界中で何百万人もの命を奪いました。看護師、助産師、医師の多くもその犠牲となりました。今、私たちは国家間の、はるかに危険な戦争、そして第三次世界大戦の瀬戸際にいます。これは、私たち人類にとって、悪魔の試練に過ぎません。

私たちはどちらをより信頼すべきでしょうか。闇と混沌の君主である悪魔でしょうか、それとも光と平和の君であるイエスでしょうか。すでに多くの医療従事者がウクライナとガザでの無意味な戦闘で命を落としています。神は確かにこれを悲しんでおられます。イエスは私たちに非暴力の模範を示しました。イエスは愛を用いて人々の心身を癒しました。イエスはご自身の体を用いて私たちを含む他の人々を養いました。イエスは2024年に世界に平和を取り戻すための私たちの模範です。世界の多くの暴力の原因は利己主義です。エデンの園で間違った木の実を食べたアダムとイブに感染したのと同じ道徳的欠陥でした。正しい木とは生命の木であり、イエスです。私たちが聖体を食べるとき、イエスは私たちの中に住み、私たちを無私の精神でイエスのように生きるための兄弟姉妹としてくださいます。これこそが私たちの人生と世界に平和をもたらす道です。

洗礼者聖ヨハネの誕生日を祝うこの大いなる祝日に、私たちと洗礼者聖ヨハネとのつながりを思い出しましょう。私たち一人ひとり、私たちは洗礼によって主と結ばれています。洗礼において、私たちはサタンとそのあらゆる邪悪な行いを拒絶するという大切な約束をしました。今日、洗礼の約束を新たにし、この聖なるミサを後にして、聖ヨハネと叔母マリアのように生き、看護と助産の奉仕を通して世界に平和と愛を取り戻しましょう。そこで、皆さんにお願いします。1. ケン神父: 皆さんは、この約束を新たにし、確認しますか？

- バプテスマを受けたときに作ったものですか？
メンバー: そう思います。
2. ケン神父: それでは、悪魔とその邪悪な行為をすべて否定するのですか？
メンバー: そう思います。
3. ケン神父: あなたは天地の創造主である父なる神を信じ、信頼していますか？
メンバー: そう思います。
4. ケン神父: あなたは世界を救った神の子イエス・キリストを信じ、信頼していますか？
メンバー: そう思います。
5. ケン神父: あなたは神の民に命を与える聖霊を信じ、信頼していますか？
メンバー: そう思います。
6. ケン神父: あなたは使徒の道を歩み続けるつもりですか？
教えと交わり、パンを裂くこと、そして祈りにおいてでしょうか。
メンバー: そうします。
7. ケン神父: あなたは悪に抵抗し続けるつもりですか。そして、罪を犯したときはいつでも悔い改めて主のもとに戻りますか。
メンバー: そうします。
8. ケン神父: キリストにある神の福音を言葉と模範によって宣べ伝えますか？
メンバー: そうします。
9. ケン神父: あなたは隣人を自分自身のように愛しながら、すべての人の中にキリストを求め、仕えますか？
メンバー: そうします。
10. ケン神父: キリストの人間社会に対する権威によって、世界とその指導者たちのために祈ることによって、弱者を守ることによって、そして平和と正義を求めることによって？
メンバー: そうします。
11. ケン神父: 全能の神よ、あなたは私たちにこれらすべてのことを行う意志を与えてくださいました。あなたの御名の名誉と栄光のため、そしてあなたの教会と人々の幸福のために、私たち CICIAMS のメンバーにそれらを達成する勇気と力を与えてください。あなたと聖霊とともに唯一の神として生き、支配しておられる私たちの主イエス・キリストを通して、今もそして永遠に。
メンバー: アーメン。

ナース・ミスティック - 幽霊「承認済み」



ピエリーナ・ギッリ (1911-1991)。
1947年と1966年に看護師とイタリア人の幻視者の前で起こった聖母マリアの出現は、教理省 (Df) がブレシア司教ビクター・マヌエル・フェルナンデス枢機卿に宛てた2024年7月5日付の書簡の中で教皇フランシスコ聖下によって承認されました。書簡では、「マリア・ローザ・ミステイカに関連してピエリーナ・ギッリが語った体験から生じる霊的な提案には、教会の教義に反する神学的または道徳的要素は含まれていない」と述べられています。

ピエリーナはイタリアのモンチキアーリで、愛の侍女会の看護師兼修道女志願生でした。彼女が聖母マリアと初めて出会ったのは、1947年の春、病院の礼拝堂で祈っていた時でした。彼女は日記に、聖母マリアの出現を一つ一つ記録しています。マリアは荘厳な光の中に現れ、藤色の衣をまとっていましたが、目には涙を浮かべ、非常に悲しげな様子でした。彼女の心臓は三本の剣で突き刺されました。一つ目は、ミサと聖体拝領をふさわしくないまま執り行ったこと、二つ目は不信仰な司祭やその他の修道者が信仰を放棄したこと、そして三つ目は「信仰の裏切り」でした。聖母は「祈り、悔悛、そして犠牲」を求めました。それが彼女の唯一の言葉でした。

白いバラ=祈りの精神
赤いバラ=犠牲の精神 黄色いバラ=悔い改めて回心の精神

1947年7月13日、ピエリーナはその婦人が誰なのか尋ねました。聖母はこう答えました。「私はイエスの母であり、あなた方すべての母です。主は私を遣わして、男女を問わずすべての修道会と修道会、そしてこの世の司祭たちに、新たな聖母マリアへの信心をもたらしてください。私をこのように特別に崇敬する修道会と修道会を私は守り、召命を増やし、神のしもべたちの間で聖性へのより大きな努力を達成することを約束します。毎月13日が聖母マリアの日として祝われることを望みます。その前の12日間は特別な祈りが捧げられます。この日、私を特別に敬う修道会と修道会に、召命の聖性と豊かな恵みを注ぎます。7月13日が毎年、ローザ・ミステイカを記念して祝われることを望みます。」

<https://www.divinemysteries.info/the-mystical-rose-montichiari-fontanelle-italy-1947-1966/>

国連におけるCICIAMS – 2024

人口・開発委員会第57回会期

国連本部、ニューヨーク市、米国 2024年4月29日から2024年5月3日

口頭陳述 (3分)

国際カトリック看護師および医療ソーシャルアシスタント委員会 Comité International Catholique des Infirmières et Assistants Médico-Sociales (CICIAMS)

パトリア・セイヤーズ博士による発

表 CICIAMS 国連 NGO チームメンバー: RK Mthethwa, D. Ruzicka, MV Arvonio, PA Sayers

テーマ:

持続可能な開発のための行動と実行の10年における、国際人口・開発会議の行動計画の実施状況と、持続可能な開発のための2030アジェンダのフォローアップと見直しに対するその貢献を評価する。

委員長、著名なパネルメンバー、各国代表、ゲスト:

国際カトリック看護師・医療社会福祉士委員会 (CICIAMS) は、加盟国に発表する機会を与えてくださった第 57 回人口開発委員会に感謝の意を表します。

CICIAMS の口頭声明は、1) 都市化と自然災害への備え、2) 人口の高齢化、3) 生殖医療、について取り上げています。パトリア・セイヤーズ博士は、DNP、RN で、CICIAMS のサービス担当代表です。国連グローバル・コンパクトの DGC による「都市」のサービス担当の代表です。1. 都市化

と自然災害への備え自然災害に対する都市のレジリエンスに関する解決策は、「場所に基づき、統合され、包括的で、リスクを認識し、将来を見据えたもの」である必要があります (Resilient Cities Network, 2023 年)。世界の都市人口の推定 3 分の 1 は、「サイクロン、洪水、干ばつ、地震、地滑り、火山噴火、またはそれらの組み合わせ」に対して脆弱です (ECOSOC, 2023 年)。看護師は、災害対応および災害後の復旧において最前線で医療提供者です。今後の自然災害や感染症の流行には、高度なスキルを持ち、すぐに利用できる看護人材が不可欠です。看護師の採用と多国間の大学教育協力は活発に行われており、新たな国の参加も歓迎しています。



2. 高齢化2022年の平均

寿命は71.7歳でした。2050年までに77.3歳に延びると予想されています (国連人口部、2023年)。健康的な食事、運動、禁煙は、高齢者の非感染性疾患や障害の発生率を低下させる可能性があります。老年看護チームのメンバーは、高齢者の健康増進に尽力しています。

出生率の低下は高齢化の「原動力」である (Lai, 2016)。社会に貢献する若者の不足は、高齢者の平均寿命の延伸は、各国に人口ボーナス後の「冬の時代」をもたらしています。CICIAMSは、看護師主導の不妊治療クリニックを世界的に推奨しています。その結果、若年成人が各国に流入することで、人口年齢構成のバランスが改善する可能性があります (CICIAMS, 2015~2017年)。

3. 低コストで副作用のない不妊治療サービスへのアクセス

エストロゲン (クラス発がん性物質)とプロゲステロン (女性の脳卒中や心臓発作を引き起こす血液凝固に関連する)によるホルモン抑制とホルモン操作による不妊治療は、費用がかかり、時代遅れです。クレイトン法は95%の効果があり、自然でリスクがなく、母から娘へ、父から息子へ簡単に教えることができ、世代や文化の壁を越えることができます (教皇パウロ6世研究所、2019年)。

世界中で6組に1組のカップルが妊孕性の低下を経験しています (WHO, 2023年)。NaproTECHNOLOGYは、妊孕性に関する健康における科学的進歩です。研究により「正常な状態と異常な状態」が明らかになりました。これらの知見に基づき、NaproTECHNOLOGYは問題を特定し、月経周期や妊孕性周期と連携することで、状態を改善し、人間の生態系を維持し、生殖能力を維持します。 (<https://naprotechnology.com>)

最後に…聖マ

ザー・テレサの言葉 (1994年)を引用します。「…すべての子どもは、神の特別な姿と似姿に創造され、より偉大なこと、すなわち愛し愛されることのために造られています…私たちの子どもたちは未来への唯一の希望です。高齢者が神に召されるように、彼らの代わりに務めることができるのは彼らの子どもたちだけです。」 (1994年2月3日)

感謝申し上げます。アフリカ、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカからの看護師と医療ソーシャルアシスタントの国際カトリック委員会。

CICIAMS の国連へのプレゼンテーションは、<https://www.ciciams.org/ununesconicefdpi.html> でご覧いただけます。

委員会からの報告

CICIAMS倫理委員会



ジョイス・アスファイ議長

委員会は、厳しいスケジュールにもかかわらず、仮想的に数回会合を開き、2014年に最後に見直されたCICIAMS倫理ガイドラインを見直すことができました。見直されたガイドラインは添付されており、理事会で精査し、承認を得て、その後メンバーに配布される予定です。

未成年者および脆弱者の保護に関する文書が検討されています。

委員会はまた、教会の他の関連機関と協力して、看護および助産の実践に関連する現在の人工知能（AI）の倫理的影響を見つけることも検討しています。

St. André International Center for Ethics and Integrity

2024 Fall Bioethics Seminars Program

- Ethics educators workshop (Sept 16-20, Provence, France)
- Bioethics colloquium (Sept 23-26, Provence, France)
- Health care ethics: Catholic perspectives (Oct 22-26, Provence)

Interactive Program

All seminars contain a mixture of presentations by invited speakers, contributions by participants, discussion sessions, time for individual meetings, shared meals, and organized excursions to relevant cultural sites. Registration is limited to 20 participants per seminar.

Holistic Approach

In addition to stimulating the intellect, we also wish to nurture well-being more holistically. The historic and natural beauty of the conference sites, cuisine and patrimony, as well as time for reflection, spiritual enrichment and developing new friendships are key ingredients.

Location

The fall 2024 seminars take place at the convening center Notre Dame de Grace in Rochefort-du-Gard near Avignon in the south of France, which also offers guest rooms for participants. For practical information, including the fees for each seminar, please visit the website listed below.

www.saintandre.org

Comments from past participants

"The seminar did an exceptional job in blending formal presentations with diverse opportunities for informal discussions."
(philosopher)

"What a tremendous week of professional growth in an international yet warmly collegial context!" (physician-ethicist)

"My ethical discernment about future career and vocation began last year and continued during the teacher workshop and the end-of-life care seminar." (geriatrician-ethicist)

"It was a particularly insightful experience for me as a medical student to learn how colleagues further ahead in their medical careers are incorporating ethics into their careers." (medical student)

"An amazing variety of people who shared knowledge, ideas and hopes so all could learn."
(physician)

info@saintandre.org

CICIAMS助産師委員会

助産師委員会の報告:

委員会の概要

活動内容:

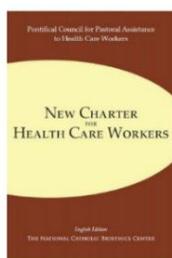
- ウェビナー、助産師に関する記事
- 祝う
国際看護師・助産師週間:
- ---2023年5月 - テーマ:
「再び共に :証拠から現実へ」
- ---2024年5月 - テーマ:「持続可能な助産 :明日の世界のケア
- 妊産婦および新生児の罹患率および死亡率を減らすための啓発キャンペーン。
- 国際病者の日をそれぞれ2023年と2024年に祝う

アン・フワイア博士
カビムバ博士、RN、
椅子

委員会の成果:

- 委員会の活動についての認識を高め、新しいメンバー2名を加えて委員会の視野を6名に拡大しました。
- 委員会の将来計画 :一部の国において助産師が母親と新生児のケアを行うことを妨げている要因を特定し、軽減すること。カトリック系医療機関に対し、助産師支援の主導的な役割を担うよう働きかける。この委員会を基盤として、CICIAMSは「国際カトリック助産師協会」の設立を検討できる可能性がある。

医療従事者のための新しい憲章 Health Care Workers



2017年に教皇庁医療従事者司牧支援評議会によってイタリア語で更新・出版されました。評議会に代わって、米国国立カトリック生命倫理センターがガイドラインを英語に翻訳し、オンラインで無料で公開しています。<https://www.ncbcenter.org/store/newcharter>

CICIAMS 国際会長は、2017年に評議会が統合されて総合的人間開発部が設立されるまで評議会でも活動していました。

CICIAMS家族委員会メンバーからの報告



シニア セシリア アダケ、OSF、議長

会員からの報告

アジア地域

韓国からの報告

韓国における最も差し迫った懸念は、出生率の低さです。合計特殊出生率は2023年には0.8を下回ると報告されており、これは国家的な懸念事項です。出産年齢の若者は経済的な理由から子供を持つことに消極的であり、平均初婚年齢も上昇しています。現在、平均初婚年齢は女性が32歳、男性が34歳です。子供を望むカップルは自然妊娠が難しい場合が多く、体外受精などの処置が増えています。

私たちは、韓国カトリック看護師協会の次回の会合でこれらの問題について議論する予定です。

8月の最後の週。

アフリカ地域

ザンビアからの報告

ザンビアの状況について統計的に見ると、人口保健調査によると、10代の妊娠の問題は年々増加傾向にあり、18歳までに29~48%が一度は妊娠を経験している (ZDHS 2018) ことが確認されています。この割合は東部州と南部州で最も高くなっています。こうした状況を受け、カトリックの看護師たちは、それぞれの教区を通じてこの社会問題の解決に取り組んでいます。

貧困、ジェンダーに基づく暴力、薬物乱用、性的圧力など、考えられる要因に関連して活動が実施されます。国内のさまざまな教区の組織化された構造を使用して、意識啓発が行われます。

ナイジェリアからの報告

自然な家族計画

■ ナイジェリア全土の教区の看護師たちは、特に結婚クラスで、カップルに自然な家族計画を教える活動に積極的に取り組んでいます。

■ 教区レベルではカトリック看護師組合が

ピリングス法の利点と人工家族計画の欠点について、クライアントに健康教育を提供するセンターを設立するために、司教と協力して活動することを奨励します。また、不妊症やその他の生殖および婦人科の健康問題に関して、FertilityCareとNaProTECHNOLOGYを通じて支援を求め、解決策を得ることも奨励します。

アフリカ地域 (続き)

ナイジェリアからの報告

世界高齢者デー

これは通常7月の第3週に祝われます。活動は7月だけに限定されず、例えば以下のような活動も含まれます。•高齢者への定期的な訪問。

- 家の掃除を手伝います。
- 健康診断を実施します。
- 教区内の該当する場所に高齢者用住宅を増やします。

パンアメリカ

カナダからの報告

2024年5月1日に開催された教育イベントでは、カナダ・カトリック生命倫理研究所のモイラ・マックイーン事務局長が、「人間の生命」(1968年)、「人の生命」(1987年)、「人の尊厳」(2008年)、「無限の尊厳」(2023年)の倫理的含意について講演しました。世界中のカトリック看護師が、国際カトリック看護師・医療ソーシャルアシスタント委員会(CICIAMS)との提携を通じてウェビナーに参加しました。

ヘレンが CICIAMS の家族委員会のメンバーであったことにより、ドクターの国際的な活動が促進されました。

マックイーン氏の講演。17人の看護師がウェビナーに参加しました。当協会の前会長、フリーダ・チャベス博士は、CICIAMS の専門職委員会の委員です。

ヨーロッパ

英国からの報告

バチカンのウェブサイト「Dignitas Infinita」へのリンクを提供しました。2024年4月の新しい文書がウェブサイトのページに追加されました。

<https://press.vatican.va/content/salastampa/en/bollettino/pubblico/2024/04/08/240408c.html>

<http://www.ciciams.org/committeonthefamily.html>



CICIAMS第7回アフリカ地域会議

執行委員会 (EB)とCICIAMS総会 (GCM)

看護・助産教育の強化

ラウダート・シとシノダリティの精神に基づく医療サービスの改善

info@catholicnurseskenya.org; www.catholicnurseskenya.org



スケジュール:

2024年8月5日 - 執行委員会 (EB) ,10:00~17:00

2024年8月6日 - 総会 (GCM)10:00~17:00

2024年8月7日~9日 - CICIAMS第7回アフリカ地域会議

2024年8月10日 - 出発または遠足

会場 :ケニア金融研究学校 (収容人数100名)

主催 :ケニアカトリック看護師ギルド (CNGK)

SUB THEME:

1. Nursing and Midwifery Education
2. Nursing practice
3. Spirituality in Nursing and Midwifery care
4. NCDs and Emerging diseases; The role of the Catholic Health Workers
5. End of life care
6. COVID-19 pandemic

7. Sustainable health and development in Africa
8. Technology and innovation
9. Ethical dilemma
10. Mental wellness
11. Scientific Methods of Natural family planning
12. Synodality

詳細情報やサポートについては、ケニアカトリック看護師ギルドまでお問い合わせください。

ロザヌ・ニャベラ氏 (コーディネーター) (+254)0722 754 505 alooroseanne@gmail.com

アン・ワワイヤー・カビンバ博士 (+254) 0725 411 421 annekabimba@gmail.com

グレース・ティリクワ、CNAK 会長 thirikwa.atienograce@gmail.com



登録と宿泊の詳細については、CNAKのウェブサイトをご覧ください: www.catholicnurseskenya.org

あなたはカトリックの看護師ですか、それともカトリックの看護師ですか? Nurse?

1935年8月27日、ローマで開催された国際カトリック看護師世界会議において、教皇ピウス11世はカステル・ガンドルフォに集まった2000人の看護師たちに演説を行いました。異教と物質主義があらゆる場所に浸透していることへの懸念を表明した後、教皇は次のように述べました。「ですから、何よりもまず、そしてどんな犠牲を払っても、霊性、キリスト教、キリスト教的超自然の精神に満ちていなければなりません。…私たちは、自分自身が持っているものを他人に与えることはできません。…そして、皆さんの援助が病弱な人々にもたらすべき宝は、まさに霊性、超自然の宝なのです。」教皇は、看護師が物質的な身体的な慰めと専門的な知識を持つことの重要性を指摘しました。しかし、何よりもまず、私たち自身がキリスト教的超自然を身につけていなければなりません。聖母マリアが推奨する5つのカトリックの戒律をご紹介します。祈りの生活を深めるために、これらのいくつか、あるいはすべてを取り入れてみてはいかがでしょうか。

聖書 / 聖体拝領 / ロザリオ / 断食 / 告解
(毎日の読書) / (毎週日曜日) / (毎日) / (週2回) / (月刊)

聖ヨハネ・デ・ゴッド、聖カミルス・デ・レリス、福者ハンナ・クルザノフスカ、RNwska, RN

看護師と看護協会の守護聖人よ、私たちのためにお祈りください。 for us.

バチカンから – 使徒座通行所と 新福音宣教推進評議会

第4回世界祖父母と高齢者の日



Béatrice van Dorsser
CICIAMS 代表
CRESCENDO

2024年7月28日
完全な免罪符

「祖父母、高齢者、そしてすべての信仰深い
真の悔悛と愛の精神に動かされて、祖父母と高齢者の
ための世界デーの祝典の一環としてミサの聖なる犠
牲やその他の祈りの儀式に参加する人は、

7月9日にバチカンの免罪符授与裁判所である使徒座通訳院が発表した声
明によると、免罪符は「煉獄の魂への慰めとしても適用される」。この
免罪符は、病气、孤独、障害など、「困窮または困難にある高齢の兄弟姉妹
を、実際にまたは仮想的に十分な時間を割いて訪問する」人にも適用される。

完全な免罪を受けるには、
罪による現世の罰を受ける前に、人は罪から離れ、告解に行き、聖体
を拝領し、教皇の意向を祈らなければなりません。また、この発表は司祭た
ちに、「いつでも、そして寛大な心で」告解を聞くよう促しました。

第4回世界祖父母・高齢者デーは、2024年7月28日（日）に開催されま
す。教皇が選ばれたテーマ「老いにまかせて私を見捨てないでください」
(詩編71編9節参照)は、多くの高齢者が、残念ながら孤独と
いう辛い運命に直面しており、彼らはしばしば「使い捨て文化」の犠牲者とな
っているという事実を目を向けさせるものです。



ジュビリーの祈り

天の父よ、

あなたが私たちに与えてくださった信仰が
あなたの息子、私たちの兄弟、イエス・キリストにおいて、
そして聖霊によって私たちの心に灯された慈愛の炎が、私た
ちの中に祝福された希望を再び呼び覚まします
あなたの王国の到来を祈ります。

あなたの恵みが私たちを変えますように
福音の種をたゆまず耕す者へと変えてください。
それらの種が人類と宇宙全体の中から確実に変化
することを願います

新しい天と新しい地の
悪の力が打ち負かされ、
あなたの栄光は永遠に輝きます。

ジュビリーの恵みが
希望の巡礼者たちよ、私たちの中に再び目覚めよ。
天国の宝物への憧れ。
同じ恵みによって、私たちの救い主の喜びと平和が地球全体
に広がりますように。
永遠に祝福された我らの神よ、
永遠に栄光と賛美がありますように。アーメン

CICIAMS クレッシュェンド代表からの報告 representative

2024年6月、CICIAMS代表としてクレッシュェンド(人間とキリスト教の高齢化のための世界ネットワーク)に
出席していたベアトリス・ヴァン・ドルサー氏は、クレッシュェンドの解散計画を発表しました。一部のメンバーは、おそ
らく別のフォーラムでの再開を望んでいます。クレッシュェンドの大きな成果は、バチカンとの協力により「祖父母と
高齢者のための世界デー」を設立したことで、2024年で4年目を迎えます。ents and the Elderly which is in its
fourth year in 2024.

一方、ファン・ドルサー氏は、高齢者の人権に関する国連とのズーム会議に3回出席しました。これらの会議は出
席は認められていましたが、参加は認められていませんでした。また、オランダで開催された老年腫瘍学と高齢者の
虐待に関するシンポジウム、そして2023年と2024年に開催された「新世代高齢者の在宅生活の長期化」に関するオラ
ンダ会議にも参加しました。nces on "New Generation Elderly longer at home."



ベアトリス・ヴァン・ドルサー



遺贈 :ご家族や個人の皆様は、今すぐ、あるいは遺産計画や遺言を通して、国際カトリック看護師・医療ソーシャルアシスタント委員会
(CICIAMS)の使命と目標を支援するために、遺贈/寄付をすることができます。皆様の地上での善行は、世界中の看護師の活動を通して生き
続けます。CICIAMSへのご支援をご検討ください。CICIAMSへの資金援助に関する詳細は、事務局長 (CICIAMSInternational12@gmail.com)
までお問い合わせください。

全米カトリック看護師協会およびギルドより

マレーシアカトリック看護師ギルドより

神父様ケンとヒロコ博士はマレーシアにいました！

ジェーン・ブンクアン

2024年6月24日（月曜日）は、CNGM会員、特にサバ州の州都コタキナバルの会員にとって忘れられない日となりました。ケン神父とヒロコ博士（日本CNA会長）は、私たち、特にフランシスカに会うために、はるばる日本からマレーシアまで来てくださいました。サバ州CNGM副会長のロザリンと私は、コタキナバル国際空港で彼らを待ちました。

その夜、私たちの運転手はフィリップ（ロザリンの夫）でした。

早朝、ロザリンがホテルに迎えに来てくれました。ケン神父とヒロコ先生を朝食に連れて行きました。屋台の食べ物をいただきました。出席者全員の前で、ケン神父はフランシスカさんに会いにまた来ると約束してくれました。私たちはこの機会に、CNGM第54回年次総会と2025年看護リトリートのリトリートマスターに彼をお招きしました。

ロザリンは私たちをサバ州初のカトリック教会である聖ミカエル教会に連れて行ってくれました。会員のレストランで偶然、偶然出会った場所を訪れました。ミサの準備に向かう途中、聖心大聖堂の教区司祭、ポール・ロー神父に出会いました。聖心大聖堂では、コタキナバルのCNGのためのミサがケン神父によって司式されました。参加者はケン神父からの贈り物に興奮していました。カトリックの看護師とその家族がケン神父とヒロコ医師と記念撮影をしました。

ミサの聖なる犠牲の後、カトリックの看護師たちが集まり、ケン神父とヒロコ先生を夕食にお招きしました。ヒロコ先生は日本から届いた贈り物を使った抽選ゲームを用意してくれました…そして二人とも、飲み物には新鮮なココナッツをいただきました。

ロザリンとジェーンは空港まで彼らを見送った。

本当に慌ただしい旅でした。彼らは午前1時半に到着し、私たちは同日午後8時半に空港まで送り届けました。私たちと一緒に過ごしたのはたった18時間（睡眠時間を含めて！）でしたが、それでも有意義なひとときを過ごしました。洗礼者ヨハネの誕生日にあたるミサの中で、ケン神父は素晴らしい説教をされました。彼は私たちに、人間の命と家族愛の大切さを改めて思い起こさせてくれました。CICIAMSのメンバーとして、人類を助けるという使命において互いに励まし合うようにと、彼は私たちに語りかけました。私たちは愛と平和を取り戻すために、洗礼の誓いを新たにする機会を得ました。ケン神父、ありがとうございます。ヒロコ先生、私たちを訪ねてくださりありがとうございます。私たちはあなたを2024年以降のCICIAMSアジア支部の次期会長に推薦し、支持しました。2025年に皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



ジェーン・ブンクアン（CNGマレーシア会長）、ロザリン、ケン・スリーマン神父（MM、CICIAMS国際教会補佐）、清水博士（日本カトリック看護協会会長） - 早めの朝食



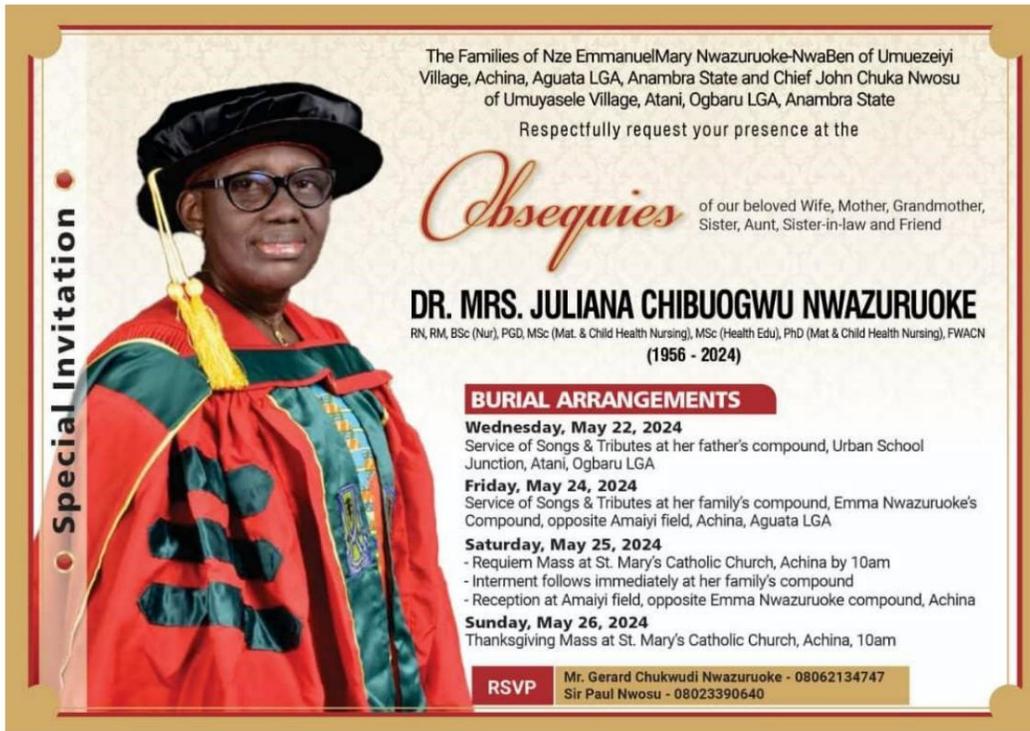
CICIAMSアジア地域会長フランシスカ・マランティンと夫のロニー・ケン・スリーマン神父と清水博士から贈り物を受け取る



カトリックの看護師とその家族と、国際教会補佐司祭ケネス・G・スリーマン神父（MM）の思い出に残る集合写真
日本カトリック看護協会会長 清水博士

追悼

ジュリアナ・チブオグウ・ヌワズルオケ博士
1956年～2024年



The Families of Nze Emmanuel Mary Nwazuruoke-NwaBen of Umuezeiyi Village, Achina, Aguata LGA, Anambra State and Chief John Chuka Nwosu of Umuyasele Village, Atani, Ogbaru LGA, Anambra State
Respectfully request your presence at the

Obsequies of our beloved Wife, Mother, Grandmother, Sister, Aunt, Sister-in-law and Friend

DR. MRS. JULIANA CHIBUOGWU NWAZURUOKE
RN, RM, BSc (Nur), PGD, MSc (Mat. & Child Health Nursing), MSc (Health Edu), PhD (Mat & Child Health Nursing), FWACN
(1956 - 2024)

BURIAL ARRANGEMENTS

Wednesday, May 22, 2024
Service of Songs & Tributes at her father's compound, Urban School Junction, Atani, Ogbaru LGA

Friday, May 24, 2024
Service of Songs & Tributes at her family's compound, Emma Nwazuruoke's Compound, opposite Amaiyi field, Achina, Aguata LGA

Saturday, May 25, 2024
- Requiem Mass at St. Mary's Catholic Church, Achina by 10am
- Interment follows immediately at her family's compound
- Reception at Amaiyi field, opposite Emma Nwazuruoke compound, Achina

Sunday, May 26, 2024
Thanksgiving Mass at St. Mary's Catholic Church, Achina, 10am

RSVP Mr. Gerard Chukwudi Nwazuruoke - 08062134747
Sir Paul Nwosu - 08023390640

ジュリアナ・チブオグウ。

ヌワズルオケ博士は、ナイジェリアのラゴスで、チーフとジョー夫人、そしてラウレッタの中流家庭に生まれました。

ヌワオス。

彼女は教育をすべて受けていた
彼女は小学校から博士課程までナイジェリアで学び、ヨーロッパで医学を学ぶ計画を立てていたが、家族の制御を超えたある事情により中止となった。

その後、彼女は看護の道に進み、1979年にベニン大学付属病院で正看護師（RN）の資格を取得し、さらに看護学の学士号を取得しました。

修士号と博士号。

彼女は教育者として働いていた

2016年に退職するまで、彼女は看護副部長や看護学校の校長にまで昇進しました。政府職を退職した後、彼女はナイジェリアのマドンナ大学に進み、そこで上級講師および看護学部長として働き、その後アナムブラ州立看護科学大学の学長に就任し、突然の死去までそこで働きました。

これに加えて、彼女は国際的なジャーナルに6件以上の研究論文を発表し、独創的な著作を発表しています。

彼女は亡くなるまでナイジェリア看護助産評議会の外部審査官でもありました。

彼女は2006年から2012年までナイジェリア・カトリック看護師組合の全国会長を務め、2012年から2016年まではCICIAMSアフリカ地域会長も務めました。

また、ナイジェリア・カトリック看護師組合の評議員も務めました。

彼女はナイジェリアプロライフ協会（PLAN）の会員でもありました。

ドクター夫人
ヌワズルオケさんは、4人の子供、1人の孫、嫁、7人の兄弟姉妹、そして多くのいとこを残してこの世を去りました。

彼女の魂が安らかに眠りますように。

ロザリン・オクーボ
CICIAMS会長
アフリカ地域



死亡記事

ジョセフィン・バートリー

1933年8月29日 - 2024年5月13日



ジョセフィンはリムリック県ブリタスで生まれました。5人兄弟の2番目で、2人は彼女より先に亡くなっています。ダブリンのセント・ヴィンセント病院で一般看護師の研修を受け、その後、コークのセント・パトリック病院で正看護師としてしばらく働きました。その後、ベルファストのクイーン・ビクトリア病院に進み、助産師の研修を受けました。ベルファスト、エディンバラ、ロンドン、後にザンビアで正助産師として働きました。ジョセフィンはクイーン・アレクサンドラ看護隊に参加し、ロンドンとドイツの両方で勤務しました。次の赴任先はローデシア（現在のザンビア）のキトウェにあるヨーロッパ病院で、そこで2年間助産師として働き、ザンビアへの深い愛を育みました。このことは、ザンビア・カトリック看護師組合とCICIAMSのメンバーが証言することでしょう。

ジョセフィンは1967年に母校であるダブリンのセント・ヴィンセント病院に助手婦長として戻った。

彼女はこの職を11年間務めました。その後、1978年にダブリンのセント・ローレンス病院（通称リッチモンド病院）の看護婦長に任命されました。この病院は、ジャービス・ストリート病院としても知られる慈善病院と合併して新しいボームント病院となり、ジョセフィンは1987年の開院の数年前に初代看護部長に任命されていました。その間、彼女はコミッショニング・チームの一員として大きな役割を果たしました。ジョセフィンは1998年に退職するまで、ボームント病院で看護部長を務めました。

ジョセフィンは看護師の継続教育と更なる教育に熱心に取り組み、スタッフに様々なコースの受講を強く勧めたことで知られています。ジョセフィン自身も数々の教育プログラムを受講しましたが、その数はここで挙げきれないほどです。彼女はアイルランド王立看護大学の看護学部創設メンバーであり、後に名誉創設フェローとして同学部を迎えられ、数年間にわたり学部の理事会メンバーを務めました。学部長を務めた期間のハイライトは、ローマで行われたマザー・テレサ・オブ・カルカット（現聖人）への名誉フェロー授与式でした。

ジョセフィンは生涯を通じてカトリックの信仰を深く持ち、毎日聖体拝領をしていました。長年にわたり、ダブリン教区の毎年恒例のルルド巡礼にボランティアとして参加していました。大司教区の要請により、彼女は5年間、巡礼の守護者を務めました。教区教会では聖体拝領の司祭を務め、地元のショッピングセンターにあるセルビテ礼拝堂で毎週ボランティア活動を行っていました。

ジョセフィンは学生時代にアイルランドカトリック看護師組合（後にアイルランドカトリック看護師組合）に入会した。ベルファストで助産師として活動しました。2023年にギルドが解散するまで、生涯を通じて活発な会員でした。ジョセフィンは、全国レベルでは全国会長、全国書記、アイルランド看護ニュース（ギルドのニュースレター）の編集者を務め、地方レベルではダブリン支部の会計係および委員を務めました。彼女は、1976年にダブリンで開催されたCICIAMSヨーロッパ大会と2014年にダブリンで開催された世界大会の組織委員会メンバーでした。

彼女は遠近を問わず多くの地域会議やカンファレンス、世界会議に出席しました。

1986年、ポルトガルのリスボンで開催された総会で、ジョセフィンは初めて執行委員会に選出されました。CICIAMSの委員を務め、2012年まで毎回再選され、26年間の任期を務めました。彼女はCICIAMS代表としてWHOジュネーブ本部で3期務め、技術委員会（現在は専門委員会）の委員を1期、規約委員会の委員長を10年間務めました。彼女はこれらの職務を献身と誠実さをもって遂行しました。

ジョセフィンの家族に哀悼の意を表す卒業生や看護師からの手紙は、彼女のプロフェッショナリズムと看護ケア。彼女は看護師と看護職のあらゆる側面の素晴らしい擁護者として称えられてきました。常に親切で思いやりがあり、公平な真のプロフェッショナルであり、看護の発展に多大な貢献を果たしました。常に患者を第一に考えた素晴らしい看護リーダーでした。追悼の言葉はすべて、以下のリンクの弔辞セクションでご覧いただけます：<https://rip.ie/death-notice/josephine-bartley-limerick-brittas-556366>

ジョセフィンは三世代にわたる家族と非常に親密で、皆から深く愛され、彼女の死を深く悼むことでしょう。彼女は家族と過ごす時間を大切に、多くの特別な日を共に祝いました。遺族には、姉妹のエイミーとメアリー、そして多くの姪、甥、孫姪、孫甥がいます。

ジョセフィンは余暇にはブリッジをしたり、劇場に行ったり、友人と食事をしたり、読書や旅行を楽しんだ。家族、友人、ギルドメンバーと一緒に。

ジョセフィンは素晴らしい人生を送りました。葬儀ミサの主任司式者、イーモン・ウォルシュ司教の言葉を借りれば、彼女は「…看護の象徴であり、アイルランド看護の素晴らしい力強い支柱です。」

アル ダイスト デ ゴー ライブ ア ハナム ディリス
（彼女の忠実な魂が神の右にありますように）

イベントカレンダー



-----2024-----

第57回世界平和デー（バチカン） - 1月1日
 神の言葉の日曜日（バチカン） - 1月21日「私の言葉にとどまりなさい」（ヨハネ8:31）
 第71回世界ハンセン病デー - 2024年1月28日
 第5回世界顧みられない熱帯病（NTD）デー、

2024年1月30日

- 第32回世界病者の日 - 2024年2月11日（バチカン）
- 第17回世界希少疾患デー - 2024年2月28日
- 世界水の日 - 2024年3月22日（国連設立1993年目標6：2030年までにすべての人々に水と衛生を）。
バチカンDPIHDプロジェクト：すべてのカトリック医療施設へのWASH（水、衛生設備、衛生習慣）。
- 世界保健デー（1948年の第1回世界保健総会で制定） - 2024年4月7日
- 国際助産師の日、2024年5月5日
- 国際看護師の日 - 2024年5月10日（金曜日）
- 第37回世界禁煙デー（WHO） - 2024年5月31日
- 信徒、教会運動、新共同体国際協会の年次議長会議、信徒・家族・生活部、シノドスホール、2024年6月13日（木）、ローマ
- 世界難民の日（国連） - 2024年6月20日
- 2024年6月26日 - 国際薬物乱用防止デー
違法取引（国連）
- 第3回世界祖父母と高齢者の日 28
2024年7月（7月の第4日曜日、イエスの祖父母である聖ヨアキムと聖アンナの祝日に近い）（バチカン）
- 2024年8月5日～9日 - CICIAMS第7回アフリカ地域会議、ケニア、ナイロビ*
8月5日 - 執行委員会
8月6日 - 総会（全国協会/ギルド会長またはその代理人
8月7～9日 - 地域会議
8月10日 - オプション遠足
- 被造物の保護のための世界祈禱日。
テーマ：「正義と平和を流そう」 - 2024年9月1日（バチカン）
- 国際平和デー - 2024年9月21日（国連）
- 第110回世界移民・難民の日
2024年9月24日（バチカン）
- 第39回世界青年の日、
2024年11月24日キリスト王の祭日における特定教会（教区世界青年の日）「主に望みを置く者は走り続け、疲れることはない」（バチカン）
- 世界メンタルヘルスデー、2024年10月10日（WHO）
- 第7回世界貧困者の日、2024年11月17日（バチカン）

- 2025 - CICIAMS EB会議 4月3日と4日
- 2025年 - 聖年（バチカン） - 4月5日～6日
病者と医療従事者の記念祭
- 2026 - CICIAMS XXII 世界会議 - タイ*
- 2027年 - ワールドユースデー、ソウル（韓国）
*ビザ手続きを早めに始めましょう

CICIAMS公式文書とリンク

CICIAMS 2023 規約および規則: <http://www.ciciams.org/ciciamsreports.html>

CICIAMS カトリック看護師のための倫理ガイドラインと実践原則: www.ciciams.org/ethicscommittee.html



CICIAMS ミッション

- § 1. CICIAMSのミッションステートメント：教会の道徳的および社会的教えに基づき、CICIAMSは次のことを約束します。•国際的に医療従事者を指導および支援することにより、私たちの生活の中でキリスト教の証しを与える
- 受胎から出産まで、人生に対する前向きなビジョンを育む
 - 他者の国内外の団体との活動においてキリスト教と職業的価値観を代表する
 - 看護専門職の精神と理想を広めるための会員協会の活動を調整する
 - 活動の開始と参加を促進する
最適なケアと健康の達成に向けた専門的な研究開発
 - 他者の宗教的信念を尊重し、その信念を実践する権利を認める。



CICIAMSの目的

- 会員の専門的かつキリスト教的な利益を代表する
- メンバーの精神的な福祉と倫理的価値観の促進
- 健康および社会的な健康対策を推進する
カトリックの原則と専門能力開発
- 加盟協会間の協力の促進

記事、写真、情報を2024年10月15日までにCICIAMS事務局長に送付してください。

2024年11月のCICIAMSニュース: CICIAMSInternational12@gmail.com